

【施策評価調査】

施策名	1-1-2	宝積寺駅西第二土地区画整理事業		70	政策「1-1.計画的な市街地整備」を実現するためには、 ①快適に暮らせるまちづくりの実現に向け、区画整理事業を計画どおりに実施すること。 ②宝積寺駅周地区を整備し、利用性の向上を図ること。 ③景観条例を制定し、良好な景観を形成すること。 ですが、そのうちこの施策については、①の快適に暮らせるまちづくりのために、駅西第2地区の良好な住宅環境を形成する上で、関係者の意向を把握し、合意形成を図ることとします。
		※高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	建設産業部 都市整備課	担当	都市整備担当		施策目的 平成18年度に住民意向調査を実施し、住民ニーズを把握した上で、宝積寺駅西第二土地区画整理事業を進めます。(※「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
		リーダー	阿久津 径行		
環境変化	宝積寺駅西第一土地区画整理事業の期間を3年間延伸し、平成23年度完成を目標に変更された。				

■指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標①:事業計画作成(%)	平成17年度進捗率 0.0%	計画	30.0%	50.0%	50.0%	70.0%	100.0%
		実績	→ 30.0%	→ 50.0%	→ 50.0%	↓ 50%	
指標②:移転件数	平成17年度未着手 0.0%	計画					
		実績					
指標③:事業計画着手	0.0%	計画					
		実績					
◆◇ 指標に関する特記事項 ◇◆	①の指標事業計画作成を達成としているが、事業計画書の作成は、合意形成事業の完了の後に作成するため、合意形成の進捗状況を指標値となっている。(勉強会の実施で50%、合意形成で70%の指標とする。)H21年度まで合意形成に向けた勉強会を開催。なお事業計画の作成は、後期計画中となる。						

	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	当初	1,300,000	50,000	50,000	0	
	決算	1,050,000	0	0	0	

■事務事業事後評価 21年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム)			
①合意形成事業費	当初	0	A	今まで行政区の役員を対象に勉強会を行ってきたが、より多くの地権者への周知をはかるため、班ごとに勉強会をおこなった。			
	決算	0		50.0% / 70.0%	今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)
②	当初						
	決算			/	今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)
③	当初						
	決算			/	今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)
④	当初						
	決算			/	今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)
⑤	当初						
	決算			/	今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)

■施策事後評価 21年度の検証

	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
自己評価	より多く地権者への周知を図るために、班別の勉強会を実施し、今までより多くの地権者が勉強会に参加された。事業の手法については、いくつかを提案したが、様々な意見をいただくことができた。	西町については、参加率が低下傾向にあったため、手法を変えて班別の研究会を行った結果、より多くの地権者の意見をいただくことができた。今後は宝積寺駅西第二地区の整備手法を決定していくため、アンケート調査を実施し、その結果に基づいて整備手法を決定していく。整備手法が決定後は、地区住民に対して説明会等を開催し、周知を図る。
総合評価	合意形成に向けて地道に施策展開していることを評価するが、アンケートを取ることが合意形成を図るプロセスとして有効な手法なのか検証し、一部の関係者のみならず、関係者全体でまちづくりについて十分な協議と検討が望まれる。その上で、後期計画で他の事業と整合性を図りながら、どう施策展開していくのか、十分に検討すること。	